

(報告事項)

## 平成 25 年度事業報告

自 平成 25 年 4 月 1 日

至 平成 26 年 3 月 31 日

岳南法人会は平成 25 年 4 月 1 日より一般社団法人としてスタート致しました。事業展開にあたっては、当初定めた「公益目的支出計画」に則り、公益法人制度改革の原点である「税」に軸足を置き、会員以外にも対象を広げ「納税意識の向上」「税制への建設的提言」「自己研鑽機会の提供」「地域社会への貢献」などの活動を今まで以上に積極的に展開致しました。

### 1. 組織の充実・強化

- (1) 本年も会員増強については、9 月から 12 月までの会員増強期間中に本会、支部、部会が一体となって取り組み、支部役員一人一社の新会員獲得を目標に掲げ 157 社の獲得目標及び対前年 12 月末比純増 1 社の目標設定を致しました。結果は 26 年 3 月末までに 132 社（前年度 123 社）と前年を上回る獲得を見る事が出来ました。また厳しい経済環境により解散、休業、退会等による脱会は 140 社（前年度 155 社）あり 3 月末会員数は 4,048 社（前年度 4,056 社）と前年を上回ることが出来ませんでした。各支部、関係金融機関、保険会社の努力と協力を感謝致します。
- (2) 青年部会、女性部会は役員及び委員会を基軸に本会との連携を密にして、活発な事業活動が展開されました。25 年度は特に新規事業も加わりましたが、会員相互の啓発、意識の向上が図られました。

### 2. 地域社会貢献活動の推進

地域社会貢献活動の一環として今年も「夏休み親子税金教室と感動映画の集い」を開催致しました。8 月 1 日富士宮市民文化会館（大ホール）、8 月 18 日富士ロゼシアター（大ホール）に 2,000 人以上の子供達と保護者のみなさんが集い盛大に開催されました。

また、毎年恒例の岳南法人会チャリティーコンサートは「加瀬邦彦&ザ・ワイルドワング」を迎え、「心の音～ハートフルコンサート」と題して 2 月 8 日（土）に富士ロゼシアター（大ホール）にて盛大に開催されました。コンサート前のセレモニーでは、東日本大震災の被災地である（公社）気仙沼法人会から 3 名の青年部会員をお招きして被災地の現状、皆に訴えたい事を熱く語って頂きました。また、収益金の一部とチャリティー募金の合計金額他 58 万円を富士市・富士宮市の社会福祉協議会及び（公社）気仙沼法人会へ寄付して善意を評価されました。

### 3. 研修活動の充実強化

「各種講演会」「経営セミナー」「改正税制説明会」「消費税法改正説明会」「新設法人説明会」「速習経理実務講習会」等実情に応じた研修活動を進め、参加人員の増加・充実強化を図りました。

地区協議会、支部、部会に於いても視察研修会等が積極的に開催されました。

### 4. 税制改正への対応

税制・税務委員会を中心に「平成 26 年度税制改正要望事項」を取り纏め、日本経済の活性化を目指し、社会保障と税の一体改革の推進、法人税の引き下げ、行財政改革の推進等を課題として全法連を通じ関係方面に強く要望すると共に、国会議員、地方自治体首長、議会議長にも陳情を行いました。

結果、設備投資減税、交際費課税などの法人会の要望事項の一部が改正に盛り込まれました。

### 5. 租税教育活動

青年部会を中心に、次世代を担う子供達に税の大切さを認識してもらう為に出前の「租税教室」を平成 26 年 1 月 21 日に富士市立第二小学校 6 年生 4 クラス、1 月 23 日富士宮市立富士見小学校 6 年生 4 クラスにて開催。

女性部会に於いては、「税に関する絵はがき」作品を募集し 178 点の応募が有り確定申告会場、金融機関に於いてロビー展を開催しました。

これまでの実績から、富士税務署長より「平成 25 年度租税教育推進校等税務署長表彰」を受賞致しました。

### 6. 広報活動の充実

会員以外も視野に入れた効果的な「税の啓発」に役立つ広報活動を展開し、会報誌「がくなん」も第 152 号を迎える事が出来ました。

また、インターネットセミナー・オンデマンドをアピールし、ホームページからの会員・一般に向けた広報活動の場としました。

### 7. 運営研究発表

平成 25 年度の運営研究発表法人会に指定され、研究発表プロジェクトチームを編成。1 月 30 日県連での発表、続いて 3 月 4 日東海法連静岡大会での発表を行いました。作成した 25 分間の DVD は今後岳南法人会の P・R 活動にも使用する方針です。